

## [DX推進担当者必読]

# デジタルレイバーで実現する 高付加価値業務へのリソースシフト

企業の価値・競争力向上に貢献するDXを推進するために

競争力の維持・強化を図るために多くの企業がDX推進の取り組みを始めています。しかし、DX推進においてはIT人材の不足と低生産性が大きな壁として立ちはだかっています。

こうした課題解決の方法の一つとして注目を集めているのが、RPAなどのデジタルレイバーの活用です。しかし、「どのように進めたらよいかわからない」「RPAを導入したが思ったような効果が出ていない」という企業様が多いのも実情です。

本書では、DXを推進するプロジェクトリーダーの皆様に、DXの第一歩として「デジタルレイバーによるリソースシフト」の方法について解説いたします。

下記のようなニーズ・課題をお持ちのご担当者向けの資料です。

- ✓ 単純作業を効率化して、コア業務や付加価値の高い業務に人材を注力したい
- ✓ DXを推進していきたいが、何から取り組むべきか明確になっていない

## 1章

p4~p6

### Society 5.0の時代に 求められるものとは

- ◆ DX推進の大きな壁。  
2030年にはIT人材が80万人不足
- ◆ Society 5.0時代が到来。  
企業に求められることは？
- ◆ 業務の自動化でリソースシフトを図る

## 2章

p8~p11

### DX推進の第一歩。 デジタルレイバーで実現するリソースシフト

- ◆ DX推進の第一歩。デジタルレイバーとは
- ◆ デジタルレイバーによるリソースシフトのサイクル
- ◆ デジタルレイバーを成功させるための留意点
- ◆ デジタルレイバーがもたらす  
企業の価値・競争力向上

## 3章

p13~p17

### DXを推進するための NEC業務プロセス革新支援ソリューション

- ◆ NEC業務プロセス革新支援ソリューションとは
- ◆ NEC業務プロセス革新支援ソリューションの強み
- ◆ 導入事例
- ◆ 会社概要・お問合せ

# 1章

## Society 5.0の時代に求められるものは

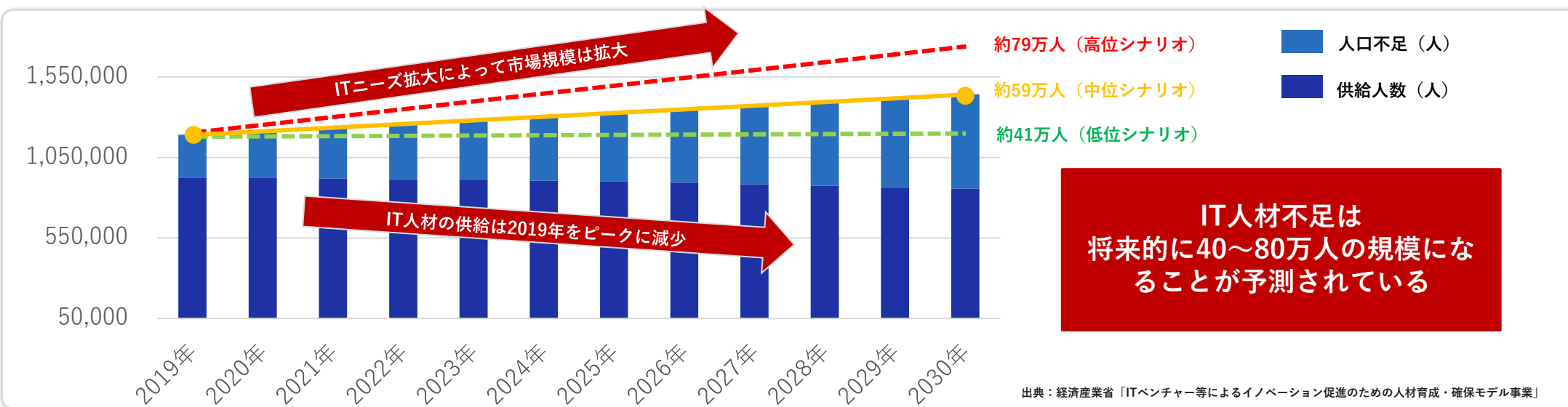
---

## DX推進の大きな壁。2030年にはIT人材が80万人不足

デジタル技術の進化によって様々な業種において新しい製品やサービス、ビジネスモデルを持つ企業が続々と登場しています。

こうした潮流の中で、競争力の維持・強化を図るために多くの企業がDX推進の取り組みを始めています。しかし、DX推進においては、IT人材の不足と低生産性が大きな壁として立ちはだかっています。特にIT人材不足は今後も増加すると考えられており、経済産業省の調査によると、労働集約業態となっている日本のIT人材の低生産性を前提とすれば、**将来的に40～80万人の規模で不足が生じる懸念があることも試算**されています。

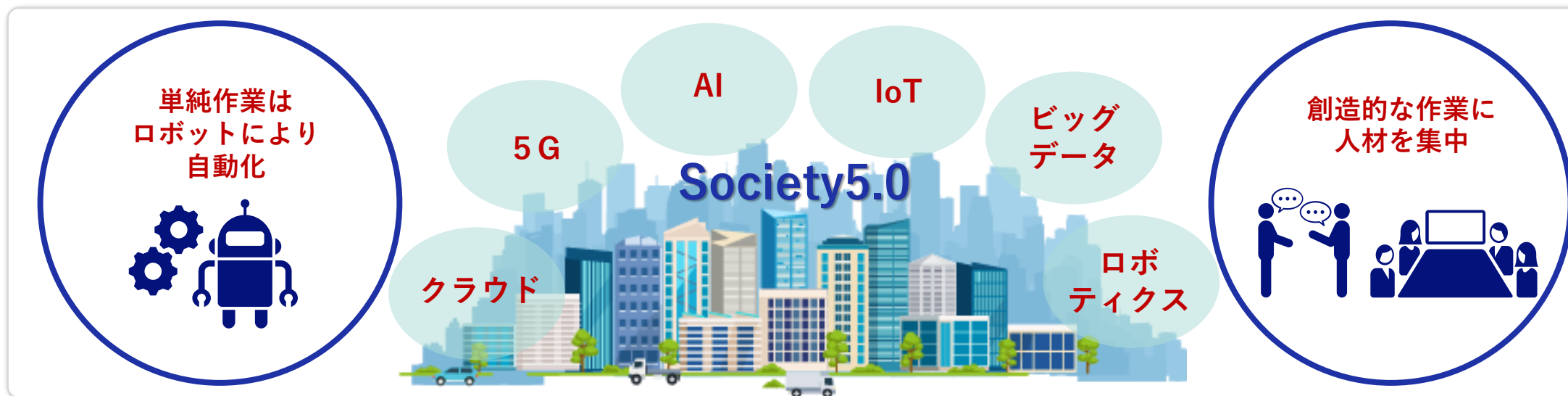
### 2030年には多くて約80万人のIT人材不足が予測されている



## Society 5.0時代が到来。企業に求められることは？

また現在は、Society4.0が抱える人的リソースの課題に対して、最新技術を利用して克服する「Society5.0」時代が到来しています。経団連では、**Society 5.0時代を「創造社会」と呼び、人がさまざまな作業から解放され、創造的な作業に専念できる時代と提唱しています。**Society5.0の社会において、企業価値・競争優位性を高めるためには**デジタル人材の育成と創造的な作業に専念できる環境創りが必要です。**そのためには、付加価値の低い単純業務は自動化を図り、人材はより創造的な業務にリソースシフトしていくことが求められています。

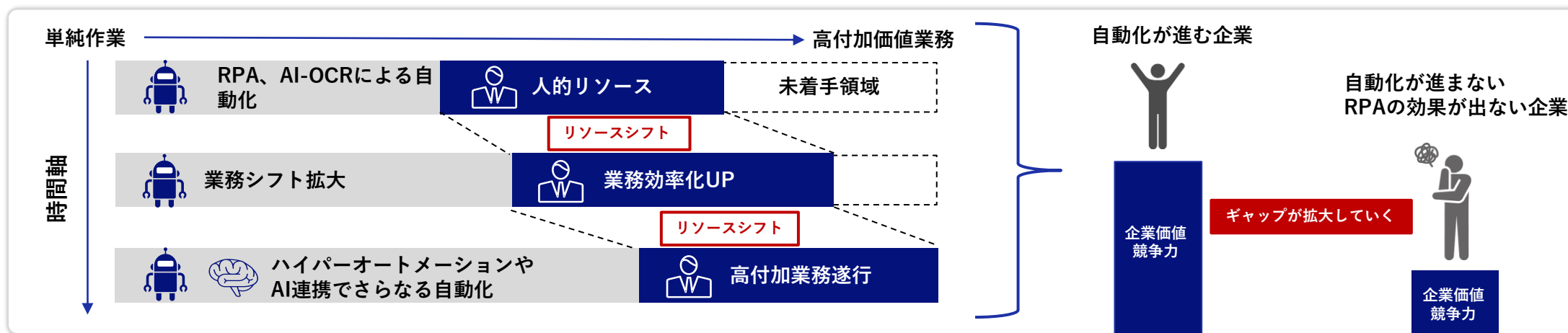
### Society5.0時代における企業の形



## 業務の自動化でリソースシフトを図る

リソースシフトを図る第一歩として、RPA、AI-OCRといった技術による単純作業の自動化・平準化を進めていくことが大切です。また、特定の業務を自動化するだけにとどまらず、複数の業務を横断的に自動化することで業務全体を効率化する「ハイパーオートメーション」やAIの活用による知能を持ったデジタルレイバーも登場しています。今後は本格的に自動化にトランスフォームしていく企業とそうでない企業のギャップは拡大していくと考えられます。

### 業務の自動化によるリソースシフトとは



次章では、こうしたリソースシフトを実現するためのデジタルレイバーの活用方法をご紹介します。

## 2章

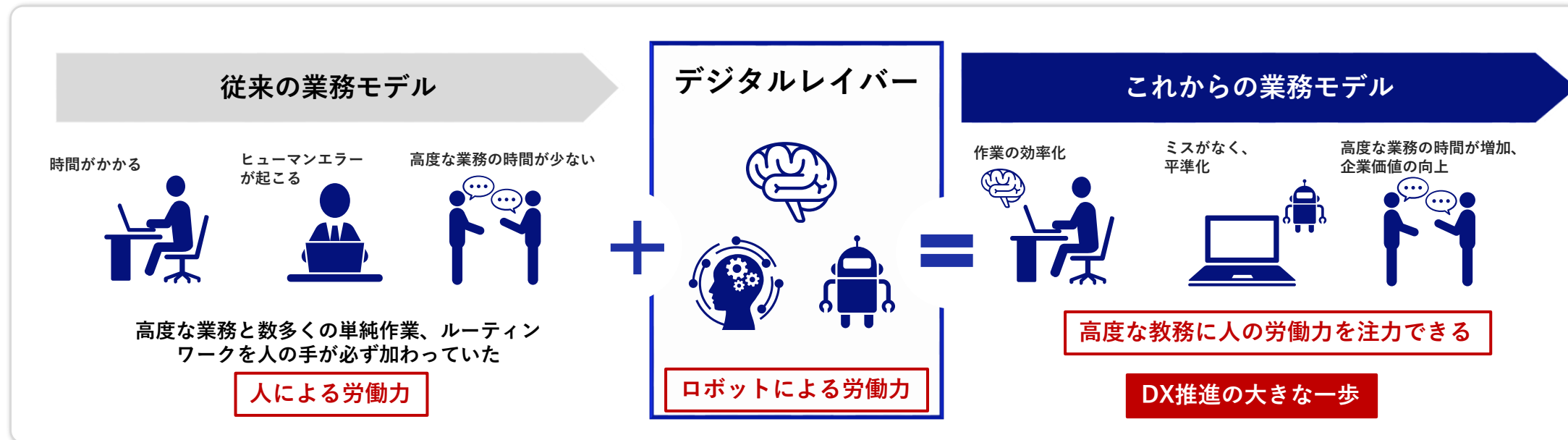
# DX推進の第一歩。 デジタルレイバーで実現するリソースシフト



## DX推進の第一歩。デジタルレイバーとは

デジタルレイバーとはRPAも含めたテクノロジーが人間に代わって業務を自動化する、**ロボットによる労働力**を言います。単純作業をデジタルレイバーに置き換えることによって、これまで単純作業に割かれていた社内の人材リソースを高付加価値業務へシフトを行うことが可能になります。デジタルレイバーの活用は企業価値や競争力、そして社会的価値の向上に貢献するというDXの狙いに即したものであるため、**活用の幅が広がればDX推進の大きな一歩**となることができます。

### デジタルレイバーによる新たな業務モデル

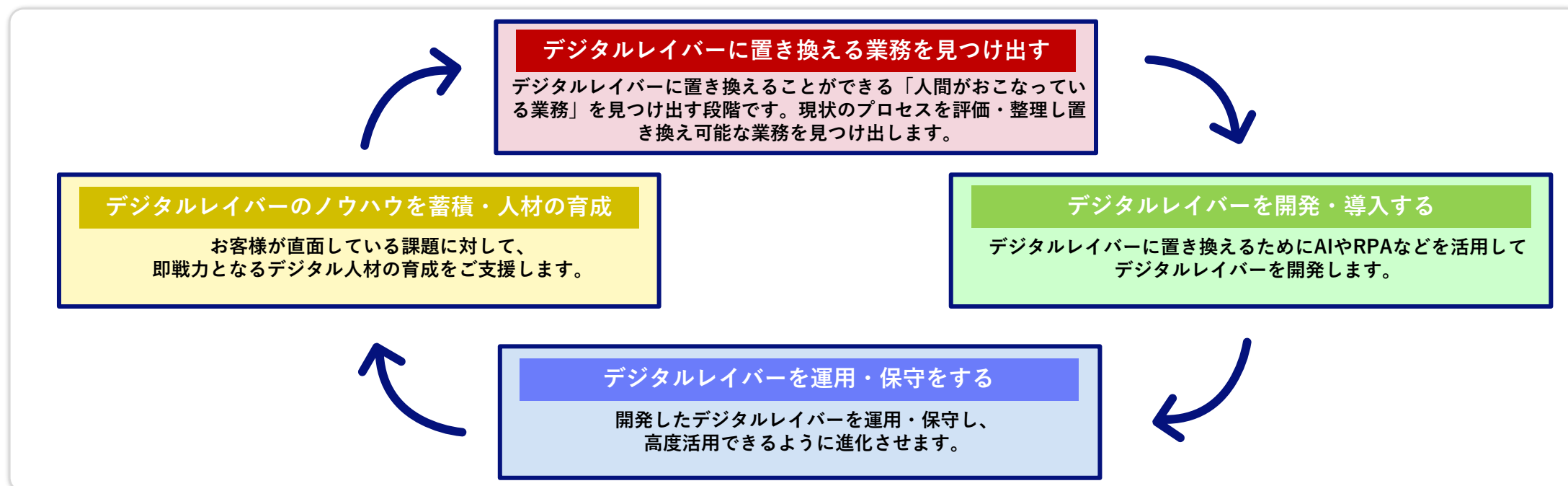




## デジタルレイバーによるリソースシフトのサイクル

デジタルレイバーによるリソースシフトは、ただ単にRPAやAIによる単純作業の自動化を行うだけでは、実現することができません。単純作業に置き換える業務を調査したうえで決定し、導入・開発、運用・保守、そして人材の育成までを行っていくサイクルが重要です。サイクルを回すことによって自動化の効果が表れ、社内のリソースがより革新的業務にリソースシフトすることが可能となります。

### デジタルレイバーによるリソースシフト実現のサイクル

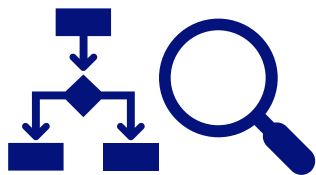


## デジタルレイバーを成功させるための留意点

デジタルレイバーを活用し効果を出すためには、デジタルレイバーに置き換える業務プロセスの正確な把握と効果の可視化が欠かせません。また、導入後の改善・修正は必ず発生するため、運用・保守フェーズにおける体制も視野に入れて開発・導入を進めていく必要があります。デジタルレイバーによる自動化は特定の業務だけを自動化しても大きな効果を得ることができません。組織的な取り組みとして横断的に行うことが重要です。

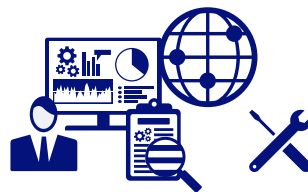
### デジタルレイバーを成功させるための3つのポイント

難易度・想定効果等を可視化してから業務を選定する



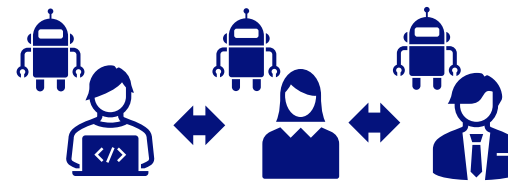
導入前に、自動化する業務プロセスを細かく把握します。自動化の難易度や業務の複雑性、想定効果等を事前に可視化して業務選定を行うことが重要です。

運用・保守も意識したデジタルレイバーを開発・導入



運用体制が不十分だと、効率化どころか、かえって業務を滞らせてしまうリスクを持っています。導入後の改善や修正に対応できる体制とサービスを整備しておくことが大切です。

組織的に複数の業務を横断的に自動化する



特定の業務だけを自動化するだけでは効果インパクトが小さいです。組織的に自動化していき、業務全体の革新を目指すことが重要です。

## デジタルレイバーがもたらす企業の価値・競争力向上

デジタルレイバーは社内のリソースシフトを実現するだけではありません。労働人口の減少、働き方改革の推進が求められる昨今の、人手不足解消、業務品質の標準にも寄与することができ、前述した低生産性によるIT人材不足の解決策となります。また、単純作業から高付加価値業務へのリソースシフトを実現することができるため、創造的な作業に専念できる環境造りが行われ、企業価値・競争優位性を高めることが可能となります。

### デジタルレイバーがもたらすもの

#### IT人材不足の解消

ロボットによる自動化で、労働力不足問題を解消  
作業の品質が標準化されることにより生産性向上

ロボットによる  
標準化と生産性向上



働き方改革の推進



#### Society5.0時代の実現

単純作業から高付加価値業務へのリソースシフトを実現することが  
できるため、創造的な作業に専念できる環境造りが可能

企業価値・競争力の向上



社会的価値の向上



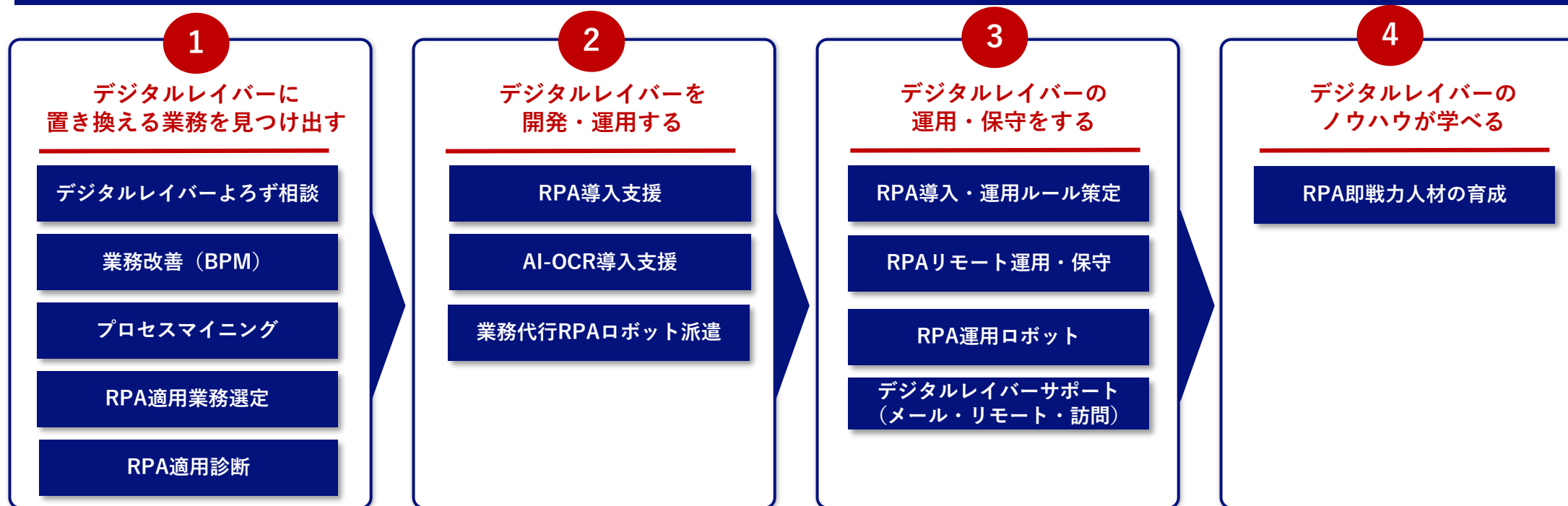
# 3章

## DXを推進するための 「NEC業務プロセス革新支援ソリューション」

## 「NEC業務プロセス革新支援ソリューション」とは

NECソリューションイノベータが提供する「NEC業務プロセス革新支援ソリューション」は、デジタルレイバーによるリソースシフトサイクルの業務を見つけ出すフェーズから、開発・導入、運用・保守、人材の育成までを徹底的に支援しています。リソースシフトの実現によってお客様の企業価値や競争力、そして社会的価値の向上、DX推進に貢献します。

### デジタルレイバーの活用を成功に導く4つのソリューション



## 「NEC業務プロセス革新支援ソリューション」の強み

NEC業務プロセス革新支援ソリューションの強みとして以下2つあります。1つ目は相談から導入・運用までの**ワンストップ伴走**です。デジタルレイバーの専門家である私たちが伴走ことでデジタルレイバーの活用を実現します。2つ目は**約1,600体のロボットの開発・運用・保守の実績**です。NECソリューションイノベータではRPAといったロボットの開発のみならず、運用・保守も行っています。そのため導入後の変更修正・改善もサポートすることができます。

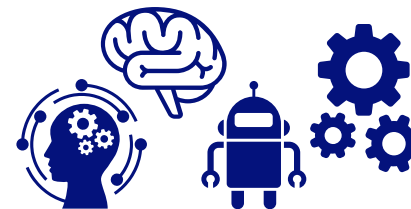
### NEC業務プロセス支援ソリューション 2つの強み

#### 相談から導入、運用まで ワンストップで伴走



NECソリューションイノベータはお客様のDX推進、RPAによる自動化といった悩みを相談から導入、運用までワンストップで伴走いたします。リソースシフトを回していくことで最終的にはデジタルレイバーの運用の自走が可能となります。

#### 約1,200体のロボットの 開発・運用・保守の実績・ノウハウ

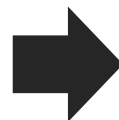


NECソリューションイノベータは約1600体のロボットの開発・運用・保守の実績・ノウハウがあるため、お客様のニーズに合ったご提案が可能です。開発だけではなく、運用・保守の経験も豊富なため、導入後の変更修正・改善にもお役に立てます。

## 導入事例

### お客様の業務背景

AIやデータの活用を強みとし、現場のニーズに応えた業務改革を推進している。同社は技術の進化により誕生したRPAやICTを業務に取り組み高度化する活動を行っていた。



### 導入前の課題

経理業務における繰り返し業務を自動化できないかという課題があった。また、調達や人事の領域などにもRPAを導入していきたいというお声があった。

## 「NEC 業務プロセス革新支援ソリューション」

### 導入による効果

1



開発から運用まで併走してくれ、安心してRPAを導入できた。

2



OCRとの連携や統合管理ツールなど技術の高さを活かし、年間で15万時間の削減に成功した。

3



ミスが許されない業務における担当者の心理的負担が大幅に軽減された。



## 本資料・ソリューションに関するお問合せ

---

### NECソリューションイノベータ株式会社

デジタルレイバーの導入・運用に関するご相談はお気軽にご連絡下さい。

#### お問合せ先

お問い合わせフォーム：

<https://www.nec-solutioninnovators.co.jp/sl/digitallabor/form/inquiry.html>

メールアドレス：rpa-sales@nes.jp.nec.com

## 会社概要

会社名	NECソリューションイノベータ株式会社（NEC Solution Innovators, Ltd.）
設立年月日	1975年9月9日 ※2014年4月1日 NECソリューションイノベータ発足
資本金	8,668百万円
代表者	代表取締役 執行役員社長 石井 力
従業員数	12,589名（2024年3月31日 現在）
本社所在地	東京都江東区新木場一丁目18番7号
電話番号	(03)5534-2222(代)
事業内容	システムインテグレーション事業 サービス事業 基盤ソフトウェア開発事業 機器販売

# いつかを、 いまに、 変えていく。

すべては、いつか実現したい未来を描くことから始まる。

NECソリューションイノベータは、  
お客様価値を最大化するシステムインテグレータとして、  
まだ見ぬサービスを生み出すバリュー・プロバイダとして、  
めざす未来をともに描き、創っていききたい。

いつかを、いまに、変えていく。

私たちは常に挑戦していきます。

# Orchestrating a brighter world

NECは、安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、  
誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。

\Orchestrating a brighter world

**NEC**